

保護者様

つくばみらい市立小絹中学校長 会沢 裕之

令和7年度第2回学校評価アンケートの結果について

啓蟄の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、1月末に実施した学校評価アンケートには、たくさんの保護者の方々に回答していただき、ありがとうございました。回答をもとに、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。つきましては、下記のとおり報告いたします。

記

	173名 [生徒]	19名 [教職員]	75名 [保護者]
1 確かな学力の向上			
(1) 学ぶ中で、もっと知りたいと思うことがある (目標70%)			
・とてもあてはまる・あてはまる	66.5% (+4.2%)	79.0% (-6.0%)	52.0% (+6.3%)
(2) 主体的に家庭学習に取り組んでいる (目標70%)			
・とてもあてはまる・あてはまる	60.1% (+9.8%)	26.3% (+6.3%)	56.0% (+6.6%)
(3) 家庭でしている学習			
・学校から出された宿題	80.3% (-2.8%)	68.4% (-6.6%)	82.7% (+0.8%)
・テストに備えた学習	63.6% (+0.2%)	57.9% (-7.1%)	61.3% (+7.1%)
・塾から出された課題	52.0% (+2.3%)	52.6% 50%	53.3% 54.2%+
・自分で決めた学習	57.2% (+11.3%)	15.8% (+10.8%)	45.3% (+16.4%)
・授業の予習・復習	25.4% (+1.9%)	15.8% (+5.8%)	8.0% (+4.4%)

確かな学力の向上のために

授業では、自ら学べるように、課題設定の工夫、話し合い（グループ及びペア等の学習形態）や振り返り等を有効活用して取り組んでいます。また、情報収集、情報の分析、レポートの作成などで学習用タブレット端末を活用しながら学習に臨んでいます。

自分で決めた学習については、徐々に数値が上がってきています。学習の振り返りをすることによって、自らの課題を見付け、課題を解決しようとする生徒が見られるようになりました。これを機に、学習習慣を身に付け、基礎・基本を定着できるように、保護者の協力をいただき、手立てを検討し、主体的に家庭学習に取り組むことができるように、今後も声かけをしながら指導していきます。

2 豊かな心の育成

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 学校生活が充実している。(目標85%)

- ・とてもあてはまる・あてはまる

88.5%	84.2%	85.3%
(-4.4%)	(+1.1%)	(+2.2%)

(2) 小絹中学校は生徒の悩みに手助けしている。(目標90%)

- ・とてもあてはまる・あてはまる

61.8%	100.0%	54.7%
(+3.9%)	(+10.0%)	(-6.7%)

(3) 手助けの内容

- ・ふだんから声かけ

39.9%	78.9%	28.0%
(+2.7%)	(+3.9%)	(-2.1%)

- ・困っていることを話されたときに相談

31.8%	68.4%	32.0%
(-3.7%)	(-11.6%)	(-4.1%)

- ・学校生活アンケート、その後に相談

28.9%	78.9%	5.3%
(-2.2%)	(+8.9%)	(-1.9%)

- ・校内フリースクール

27.7%	84.2%	18.7%
(+4.7%)	(+4.2%)	(-0.6%)

- ・オンライン相談窓口

15.0%	15.8%	6.7%
(-4.7%)	(-29.2%)	(+1.9%)

- ・スクールカウンセラーと話す時間を確保

12.7%	42.1%	10.7%
(+0.1%)	(+2.1%)	(-1.3%)

- ・分からない

34.1%	0.0%	37.3%
(+1.9%)	(-5.0%)	(+2.4%)

豊かな心の育成のために

教職員は、生徒理解にさらに努めていきます。生徒一人一人の得意分野や成功体験を認め、本人の努力を褒めることを大切にしていきます。また、学級活動や学校行事、委員会活動、学

習活動等で、協力を重視する環境を活用し、生徒同士が互いに認め、支え合うことで、自己有用感・自己存在感の向上を図ります。

生徒が「自分は受け入れられている」と感じられるよう、道徳や特別活動で多様な背景や価値観を尊重する教育活動を行っていきます。学級活動等で、エンカウンターやソーシャル・スキル・トレーニングを継続して実施していきます。

今後も、スクールカウンセラーやオンライン相談窓口などいくつかの相談の窓口を有効に活用しながら、生徒が困難を抱えた際にはすぐに相談できる体制を作っていきます。

3 健やかな体の育成

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 健康や安全を意識した生活をしている (目標 80%)

・とてもあてはまる・あてはまる	82.1%	79.0%	80.0%
	(-1.0%)	(-1.0%)	(-0.5%)

(2) 健康面で、どんなことをしているか。

・朝ご飯を食べている	83.8%	52.6%	86.7%
	(-4.2%)	(-12.4%)	(-2.5%)
・運動をしている	60.1%	63.2%	52.0%
	(-6.6%)	(-1.8%)	(-4.2%)
・バランスの良い食事をしている	48.6%	15.8%	44.0%
	(-1.7%)	(+10.8%)	(+1.8%)
・早寝・早起きをしている	42.8%	26.3%	34.7%
	(-0.4%)	(-8.7%)	(-11.1%)
・情報端末の使用時間を決める	24.3%	10.5%	37.3%
	(+1.9%)	(+5.5%)	(-3.7%)
・悩みを人に相談	17.3%	21.1%	20.0%
	(-4.6%)	(-3.9%)	(+1.9%)
・テレビ、ゲームの時間を決める	21.4%	5.3%	18.7%
	(+0.6%)	(+0.3%)	(-3.0%)

・その他

手洗いなど衛生面

(3) 安全面で、どんなことをしているか。

・交通ルールを守っている	84.4%	78.9%	88.0%
	(-5.8%)	(-6.1%)	(-1.2%)
・危険を予測しながら	61.8%	21.1%	50.7%
	(+6.1%)	(-13.9%)	(-2.3%)

・不審者に会った時の対応を考えている	46.2%	21.1%	37.3%
	(-3.0%)	(-13.9%)	(-3.7%)
・災害にあった時のことを考えている	37.6%	26.3%	24.0%
	(-0.1%)	(-3.7%)	(-1.3%)

(4) 運動に意欲的に取り組んでいるか。(数値目標75%)

・とてもあてはまる・あてはまる	67.7%	84.2%	68.0%
	(-8.8%)	(-0.8%)	(-5.5%)

(5) どんな運動に取り組んでいるか。

・保健体育の授業	69.4%	94.7%	49.3%
	(-7.6%)	(+9.7%)	(+2.3%)
・部活動	52.6%	89.5%	53.3%
	(-3.1%)	(+4.5%)	(-0.9%)
・自分で決めた運動	40.5%	10.5%	29.3%
	(+0.6%)	(+5.5%)	(+7.6%)
・クラブチーム	22.5%	68.4%	26.7%
	(-5.4%)	(+8.4%)	(-1.0%)
・習い事	17.3%	47.4%	13.3%
	(-10.6%)	(+12.4%)	(-1.2%)

健やかな体の育成のために

朝食は今年度も8割以上の生徒がとっています。保護者の皆様が、生徒を手厚くサポートをしている証だと感じます。

また多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいます。保健体育の授業だけでなく、部活動でも積極的に体を動かしています。体育祭や校内駅伝などの体育行事を通じて、スポーツや運動の楽しさを感じ、運動習慣の定着につなげていきます。

睡眠については、早寝・早起きをしていると答えた生徒は40%に留まりました。情報端末やテレビ、ゲームの時間に制限がない生徒もあり、ゲーム機器やスマホの使い過ぎが懸念されます。保護者の方のご協力をいただきながら、学校でも生活習慣の乱れによる健康面への影響を指導していきます。

4 時代の変化に対応できる教育の推進

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 夢や目標をもって生活している。(目標70%)

・とてもあてはまる・あてはまる	59.6%	57.9%	57.4%
	(+3.2%)	(-12.1%)	(+0.7%)

(2) 親子で将来のこと話している。(目標60%)

・とてもあてはまる・あてはまる	67.7%	68.4%	77.3%
	(+6.5%)	(+13.4%)	(+0.2%)

(3) 授業や家庭で、学習用タブレット端末を効果的に活用している。(目標80%)

・とてもあてはまる・あてはまる	72.8%	57.9%	53.4%
	(-2.6%)	(-7.6%)	(-3.3%)

時代の変化に対応できる教育の推進のために

Society5.0について学習し、未来の生活の様子をイメージさせることで、これからの仕事に必要なスキルや心構え等を身に付けていけるよう、講演会を実施したり、職業調べや職業体験を授業の中に取り入れたりしていきます。進路説明会や進路講演会を継続して実施し、生徒が保護者と話し合う機会を設けた上で、自分自身の進路を自己決定できるようにします。

夢や目標をもって生活するために、成功しなければいけないという考えではなく、挑戦すること、失敗から何かを学ぶことが大切であるという指導を行い、様々な体験活動への主体的な参加を促してけるように指導します。

2年生の夏休みから高校見学に参加し、情報収集や体験活動ができるように、情報提供を行っていきます。また、高校を卒業した後の進路や高校進学を選択しない場合の進路にも目を向けさせ、中学校を卒業した後の自分自身の姿を想像できるようにしていきます。今後も、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や姿勢を育てていきます。

授業で、学習用タブレット端末を効果的に活用するために、学校ではルールを制定し、なぜそれを守らなければいけないのかを考えさせていきます。また、家庭でのルール作りにおいては、親子で話し合う機会を設け、改めて家庭でのルール確認を行っていきます。

教育支援の充実

[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 学校の授業を通して、「分かった!できた!」と実感している。(目標90%)

・とてもあてはまる・あてはまる	79.8%	73.7%	41.3%
	(-4.9%)	(-11.3%)	(-0.9%)

(2) どんな授業か。

・ミニテスト、練習問題	54.3%	63.2%	40.5%
	(-5.4%)	(+13.2%)	(-8.0%)

・先生の説明	49.1%	36.8%	8.1%
	(-3.4%)	(-3.2%)	(-16.0%)

・体験を伴う活動	41.6%	78.9%	52.7%
	(-6.5%)	(+8.9%)	(+9.3%)

・実物が用意されたとき	35.3%	36.8%	27.0%
	(-5.6%)	(-8.2%)	(-0.7%)

・授業と関連する動画や写真を見たとき	24.3%	63.2%	27.0%
	(-10.0%)	(+18.2%)	(-7.9%)

・生徒が説明するとき	26.0%	31.6%	8.1%
------------	--------------	-------	------

(+ 2. 8%) (− 3. 4%) (− 1. 5%)

・ 専門家が説明するとき

4. 0% **21. 1%** 5. 4%
(− 4. 3%) (+ 6. 1%) (− 1. 8%)

(3) 生徒の能力に合わせた活動がある。(目標 85%)

・ とてもあてはまる・あてはまる

64. 1% 73. 7% **44. 0%**
(− 5. 3%) (− 11. 3%) (+ 1. 9%)

(4) どんな活動か。

・ 友達と教え合う活動

57. 2% 63. 2% **37. 3%**
(− 11. 1%) (− 6. 8%) (+ 4. 8%)

・ 教員が生徒にアドバイス

30. 6% 52. 6% **26. 7%**
(− 6. 6%) (− 2. 4%) (+ 13. 4%)

・ 自分でまとめる活動

24. 9% 26. 3% **20. 0%**
(− 8. 4%) (− 18. 7%) (+ 1. 9%)

・ 写真や動画を使った活動

22. 0% 15. 8% **16. 0%**
(− 5. 9%) (− 34. 2%) (+ 5. 2%)

・ 解く問題を生徒が選択できる

25. 4% **42. 1%** 5. 3%
(+ 9. 6%) (+ 17. 1%) (− 3. 1%)

・ 活動を生徒が選択できる

13. 3% 15. 8% **17. 3%**
(− 2. 0%) (− 9. 2%) (+ 8. 9%)

・ 合理的配慮がされている活動

9. 8% 21. 1% 2. 7%
(− 0. 6%) (− 13. 9%) (− 4. 5%)

教育支援の充実のために

ほとんどの項目で生徒の評価が下がっていることから、授業に対しての関心が低いことや、授業での感動や楽しさが薄れていることが予想できます。「わかった、できた」と感じるためには、目に見えた評価が必要であり、毎時間ごとに8割の生徒ができるような評価テストを行うことや、それが合格できるまで何度も同じ問題を解くなど、生徒が達成感を味わえる評価テストなどが有効ではないかと考えます。体験活動や遊び感覚でできる学習などを取り入れることで授業が楽しいという感覚をもたせること、「生徒が説明する時」の評価が上がっていることから、楽しい授業の雰囲気づくりや生徒同士が意見を言い合える活動の工夫などが求められているとも考えられます。

保護者の評価を見ると、それほど高い数字ではなく、そもそも保護者は授業の内容や様子を見ることが難しいため、子供から聞く、ホームページで授業の様子を知る、などの結果ととらえています。保護者にも授業の様子が十分伝わるためには、子供が家で話したくなるような印象的な授業や体験活動などを行うこと、楽しかったと実感できる授業の工夫が必要だと考えます。また、小テストなどで「できた」という経験を多くさせることで、保護者にも伝わるのではないかと思います。

われます。

全体的に、教員と生徒・保護者との認識と評価の差が大きいことに課題が見られます。

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
6 開かれた学校づくりと家庭・地域との連携			
(1) 学校からの情報が伝わっている。(目標95%)			
・とてもあてはまる・あてはまる	76.9% (-0.1%)	94.7% (-0.3%)	78.6% (+8.8%)
(2) 伝わっている内容			
・次の日の予定や持ち物など	53.0% (-14.0%)	47.4% (+12.4%)	37.0% (-2.5%)
・行事の様子	58.9% (+0.2%)	84.2% (-4.8%)	68.5% (-0.6%)
・生徒の学校での様子	51.8% (-4.1%)	63.2% (+18.2%)	42.5% (+0.5%)
・授業の様子	45.2% (-7.9%)	36.8% (-13.2%)	17.8% (-2.0%)
・成績に関すること	54.8% (+9.0%)	68.4% (+33.4%)	64.4% (+13.5%)
・学習(宿題、レポート課題)に関すること	32.7% (-7.0%)	26.3% (+1.3%)	16.4% (-1.1%)
・地域のイベントに関すること	17.3% (-3.4%)	36.8% (-23.2%)	37.0% (+7.4%)
・学校の方針	13.7% (+0.3%)	31.6% (+1.6%)	17.8% (+0.5%)
(3) 効果的な手段			
・スクリーン配信	69.4% (-9.3%)	84.2% (-15.8%)	89.3% (+0.1%)
・ホームページ	53.8% (+5.7%)	78.9% (+8.9%)	58.7% (+5.7%)
・スクリーン個人配信	27.2% (-1.2%)	57.9% (+2.9%)	34.7% (+1.0%)

・面談	21.4%	31.6%	38.7%
	(+4.5%)	(-8.4%)	(+17.0%)
・先生からの電話連絡	5.8%	57.9%	18.7%
	(-2.9%)	(+7.9%)	(-0.6%)
・家庭訪問	1.7%	0.0%	0.0%
	(-1.0%)	(-15.0%)	(±0.0%)
・その他	Google クラスルーム		

(4) 家庭・地域と連携して教育活動をしている (目標60%)

・とてもあてはまる・あてはまる	61.8%	100.0%	80.0%
	(-1.6%)	(+5.0%)	(+7.7%)

(5) 学校と家庭が連携できていると感じるとき

・行事への協力	48.6%	94.7%	77.3%
	(-7.0%)	(+4.7%)	(+9.0%)
・学校からの依頼物の提出	22.0%	42.1%	17.3%
	(-2.2%)	(+17.1%)	(-2.2%)
・学校へ相談したとき	15.0%	42.1%	24.0%
	(-1.1%)	(-12.9%)	(+2.0%)
・学校からの相談やお願いをされたとき	13.3%	26.3%	13.3%
	(+1.6%)	(-8.7%)	(+3.5%)
・学校へ意見を伝えたとき	8.7%	15.8%	8.0%
	(0.4%)	(+15.8%)	(+4.3%)
・登下校指導	0.0%	0.0%	0.0%
	(±0.0%)	(-0.5%)	(±0.0%)

(5) 学校が地域と連携できていると感じるとき

・資源回収・除草作業	46.2%	94.7%	69.3%
	(-14.5%)	(+14.7%)	(+7.9%)
・登下校の様子の見守り	35.3%	63.2%	54.7%
	(-4.0%)	(-6.8%)	(+2.9%)

・地域の方が学校行事に参加	27.2%	84.2%	29.3%
	(-7.8%)	(+14.2%)	(-5.6%)
・地域の方がゲストティーチャー	24.9%	47.4%	24.0%
	(+2.5%)	(+2.4%)	(+3.5%)
・生徒の情報が寄せられるとき	19.1%	36.8%	13.3%
	(-1.1%)	(+1.8%)	(±0.0%)
・地域のイベントに生徒が参加するとき	15.6%	52.6%	24.0%
	(-3.5%)	(+22.6%)	(-1.3%)

開かれた学校づくりと家庭・地域との連携のために

特に、授業の様子や学習(宿題・課題)に関する情報がもっとほしいという声が多く寄せられました。また、地域の皆さまのご協力が生徒や保護者の方に十分伝わっていないという課題も見られました。学校では今後、学習・授業情報の発信を強化すること、スクリーンや各種たよりの情報をより見やすく整理すること、地域の方の活動を分かりやすく紹介するなど改善に取り組めます。合わせて相談しやすい窓口や、個別面談の充実を図ります。引き続き、学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちの成長を支えていけるよう努めてまいります。